

## - 口紅の色が与える印象効果調査 -

## 約8割(78.5%)の女性が好印象と評価



## 40代・50代ミセス支持率No.1カラーは「ローズ系」口紅

カネボウ化粧品のセルフメイクブランド「media (メディア)」は、40代・50代の既婚女性400人を対象に、リップメイクに関する調査を行いました。主な調査結果は以下の通りです。

## 調査結果サマリー

## 顔の印象を左右するリップメイク効果。特にローズ系カラーは約8割が好印象と評価!

- ✦ 4人に3人 (76.2%) が唇の加齢悩みを抱え、3割が「似合う口紅の色がわからない」(30.3%)。
- ✦ リップメイクで顔の印象は変わらないと思っているが、実は口紅を塗ることで顔の印象が全体的に良くなり、特にローズ系口紅は約8割 (78.5%) が好印象と評価。

## 40代・50代ミセスは「マルチプレーヤー」。シーンや相手に合った印象を演出したい

- ✦ 妻であり、母であり、働く女性であり・・・40代・50代ミセスは様々な顔をもつ「マルチプレーヤー」。夫へは「若々しくて明るくて健康的」な妻の顔、娘には「若々しくて優しくて明るい」ママの顔、子どもの先生からは「落ちつきのある知的で上品」な保護者の顔、職場の同僚には「若々しくて明るく親しみのある」ワーキングウーマンの顔、とシーンや相手に合った自分の印象を演出したいと考えている。

## 「理想の自分」を演出できる! 総合力が高い優秀カラーは「ローズ系」だった!

- ✦ 自分が周囲の人から見られたい印象と、ローズ系・レッド系・ベージュ系・オレンジ系・ピンク系・ワイン系の6色の口紅の色の印象を重ねてみると、どの項目もバランス良く満たしているのが「ローズ系」口紅。40代・50代ミセスにとって、ローズ系の口紅は理想の自分を演出できる優秀カラー。
- ✦ 「20代の頃の自分が好きだった色」「20代の頃の自分に似合っていたと思う色」は「ピンク系」がトップだが、「今の自分が好きな色」「似合うと思う色」は「ローズ系」がトップ。

調査概要 ● 調査時期：2017年5月18日（木）～19日（金） ● 調査方法：インターネット調査 ● 調査対象：全国の40代・50代の既婚女性400人

## イメージコンサルタント 工藤 亮子さんに聞く、マルチに使えるローズ系の万能感

## &lt;ご参考&gt; パーソナルカラーで選ぶローズ系口紅

## &lt;ご参考&gt; 「media」パーソナルカラー別・media おすすめローズ

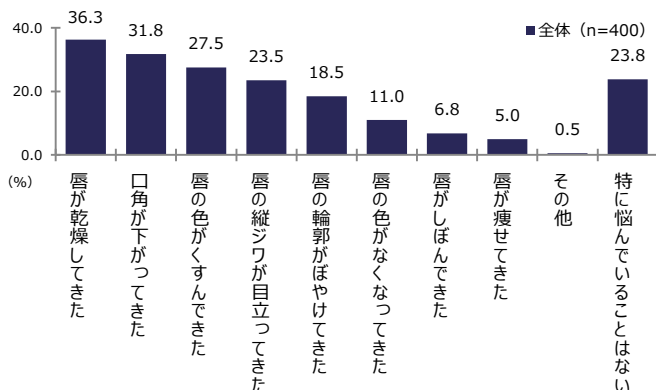
# 40代・50代ミセスに聞く、口紅の色の印象

カネボウ化粧品のセルフメイクブランド「media（メディア）」は、“大人の肌映えメイク”を提案するセルフメイクブランドです。中でも口紅は、ファンデーションと並んで「メディア」を代表するカテゴリーです。そこで、40代・50代の既婚女性400人を対象に、口紅の色の印象についての調査を行いました。

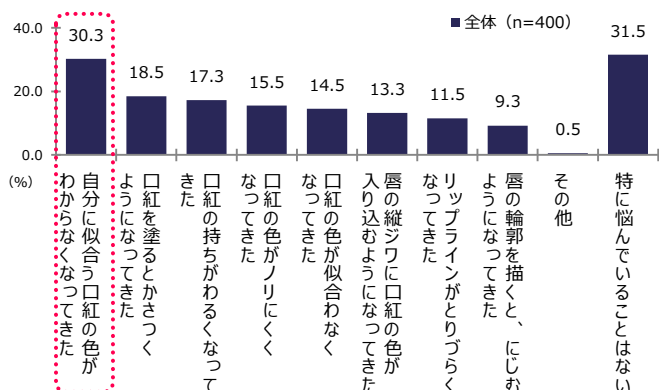
## 40代・50代ミセスの3割が、「自分に似合う口紅の色がわからなくなってきた」と実感

まず40代・50代ミセスが気になる、加齢による口もとの悩みについて聞いてみました。「唇が乾燥してきた」（36.3%）、「口角が下がってきた」（31.8%）、「唇の色がくすんできた」（27.5%）など、「特に悩んでいることはない」（23.8%）を除く、4人に3人（76.2%）が何らかの悩みを抱えていることがわかります〔図1〕。また、加齢によるリップメイクの悩みについて聞くと、「自分に似合う口紅の色がわからなくなってきた」（30.3%）という意見が最も多く、約3割が口紅の色選びに頭を悩ませていることがわかりました〔図2〕。

【図1】 加齢による唇・口もとの悩み



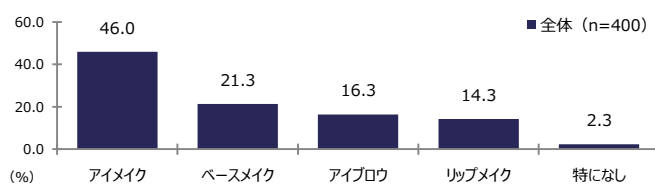
【図2】 加齢によるリップメイクの悩み



## 顔の印象を左右する、知られざるリップメイク効果。特にローズ系カラーは約8割が好印象と評価!

次に、口紅やアイシャドウなどのメイクの中で、どのメイクが顔の印象を左右すると思うかと聞くと、「アイメイク」（46.0%）という答えが最も多く、「リップメイク」と答えた人は一番少なく、わずか14.3%でした〔図3〕。

【図3】 顔の印象を左右するメイク

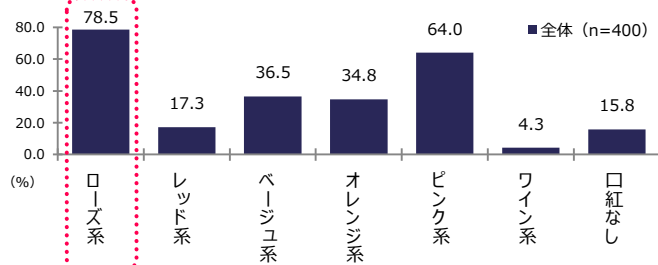


【図4】 口紅のカラー別 顔の好印象度比較



ヘアスタイルやアイメイクは全く同じで、口紅の色だけを変えた女性の写真〔図4〕を提示し、印象がよいと思う顔をすべて選んでもらった結果、口紅を塗らないときの印象（15.8%）に比べ、口紅を塗ったときは「印象が良い」と答えた方の割合は全体的に高くなっており、特に「ローズ系」の口紅をつけた女性の顔では78.5%と最も高くなっています〔図5〕。

【図5】 印象がよいリップメイクの色



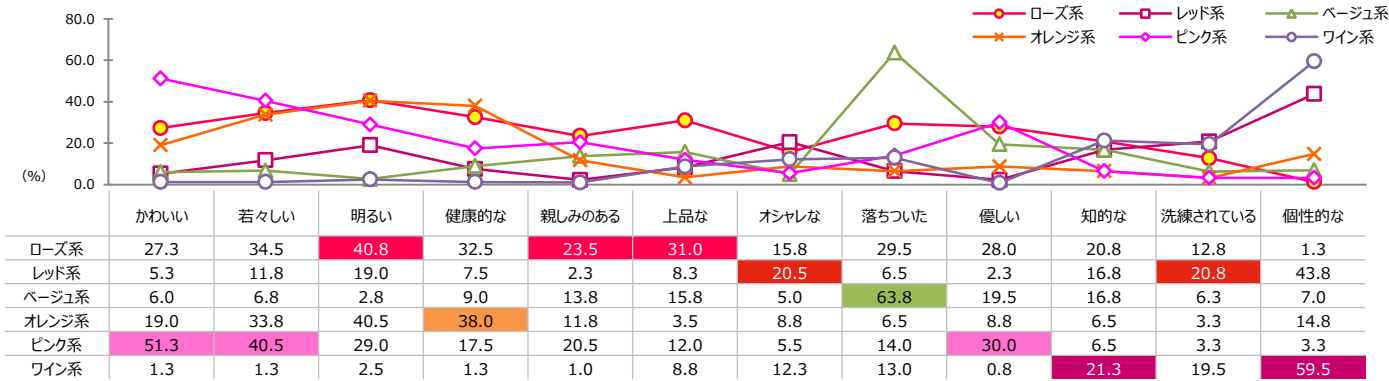
リップメイクが顔の印象に与える効果についてはあまり知られていませんでしたが、口紅には顔の印象を良くしてくれる効果があると言えます。

# 40代・50代ミセスに聞く、相手別に見せたい理想の自分

## ★ 口紅の色の持つ印象 ピンク系はかわいさや若々しさ、ローズ系は明るくて親しみのある上品さ

次に、[図4]の女性の写真を提示しながら、口紅の色にどんな印象があるか聞いてみました。その結果、ピンク系には「かわいい」(51.3%)、「若々しい」(40.5%)、「優しい」(30.0%)などの印象が強く、ワイン系は「知的」(21.3%)で「個性的」(59.5%)、レッド系は「オシャレ」(20.5%)で「洗練された」(20.8%)印象が、オレンジ系は「健康的」(38.0%)で、ベージュ系は「落ち着いた」(63.8%)印象を持たれるようです。[図5]で顔写真の印象が最も良かったローズ系は、「明るい」(40.8%)、「親しみのある」(23.5%)「上品な」(31.0%)印象が高くなっています[図6]。

【図6】口紅の色別の顔の印象



全体 (n=400)

## ★ 妻の顔、ママの顔、仕事の顔… 40代・50代ミセスは相手によって自分の印象を変えたい

口紅によって顔の印象が変わることがわかりましたが、40代・50代ミセスは周りからどのような印象で見られたいと思っているのでしょうか？ 40代・50代といえば妻であり母であり女性であり…とさまざまな顔を持つ「マルチプレイヤー」であることが多い世代。相手別に見せたい自分の印象を聞いてみました。

まず、自分が周囲の人からどのように見られたいか質問し、見られたい自分の印象TOP5を相手別に示したのが[図7]です。夫からは「若々しくて(42.3%) 明るくて(34.5%) 健康的な(31.0%)」妻に、娘からは「若々しくて(47.2%) 優しく(32.3%) 明るい(29.1%)」ママに、子どもの先生からは「落ちつきのある(26.0%) 知的で(24.5%) 上品23.5%)」な母親にと、相手によって見られたい“理想の自分”の印象が変わることがわかりました。

## ★ 40代・50代ミセスの「理想の自分」を演出できる！ 総合力が高い優秀カラーは「ローズ系」だった！

では、見られたい顔の印象を叶えてくれるのは何色の口紅になるのでしょうか？ [図4]の女性の写真で、口紅の色別の顔の印象[図6]と、相手別に見られたい自分の印象TOP5項目でレーダーチャート化したのが[図8]です。

夫に対して、「若々しくて」「明るくて」「健康的な」「かわいい」「優しい」妻を演出する場合、「若々しい」はピンク系、「明るい」はローズ系、「健康的な」はオレンジ系、「かわいい」や「優しい」印象に見せるにはピンク系が適していますが、ピンク系は「かわいい」に突出しており、あまりバランスがよくありません。その点、ローズ系は各項目ともバランスよく満たしています。

息子に対しても「若々しい」ではピンク系に譲りますが、バランスの良さではローズ系です。娘は「健康的な」と同率で「オシャレな」印象に見られたいと答えた方が多く(18.1%)、トレンドカラーであるレッド系(20.5%)に続きローズ系が上位に。「かわいい」「若々しい」では上位にあがったピンクですが、「オシャレな」印象に見せたい場合はレッドやローズ、ワインなど特長のあるカラーを選んだ方が良いでしょう。

# 40代・50代ミセスの理想を叶えてくれる優秀な口紅とは？

【参考】選択項目

かわいい / 若々しい / 明るい / 健康的な / 親しみのある / 上品な / オシャレな / 落ち着いた / 優しい / 知的な / 洗練されている / 個性的な

【図7】 相手別・見られたい自分の印象TOP5

## ● 夫から見られたい印象



1位	若々しい	42.3%
2位	明るい	34.5%
3位	健康的な	31.0%
4位	かわいい	28.0%
5位	優しい	24.5%

## ● 息子から見られたい印象



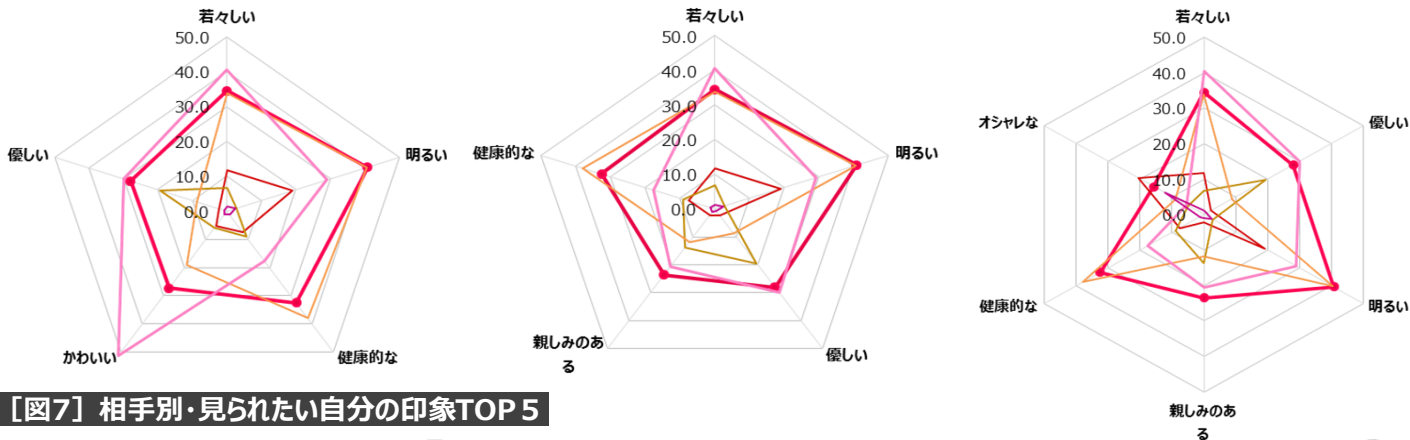
1位	若々しい	42.4%
2位	明るい	31.6%
2位	優しい	31.6%
4位	親しみのある	25.9%
5位	健康的な	22.8%

## ● 娘から見られたい印象



1位	若々しい	47.2%
2位	優しい	32.3%
3位	明るい	29.1%
4位	親しみのある	22.0%
5位	健康的な	18.1%
5位	オシャレな	18.1%

【図8】 相手別、見られたい自分の印象TOP5と口紅の色の印象



【図7】 相手別・見られたい自分の印象TOP5

## ● 舅・姑から見られたい印象



1位	健康的な	27.3%
2位	明るい	25.5%
3位	親しみのある	24.0%
3位	上品な	24.0%
5位	若々しい	21.8%

## ● ママ友から見られたい印象



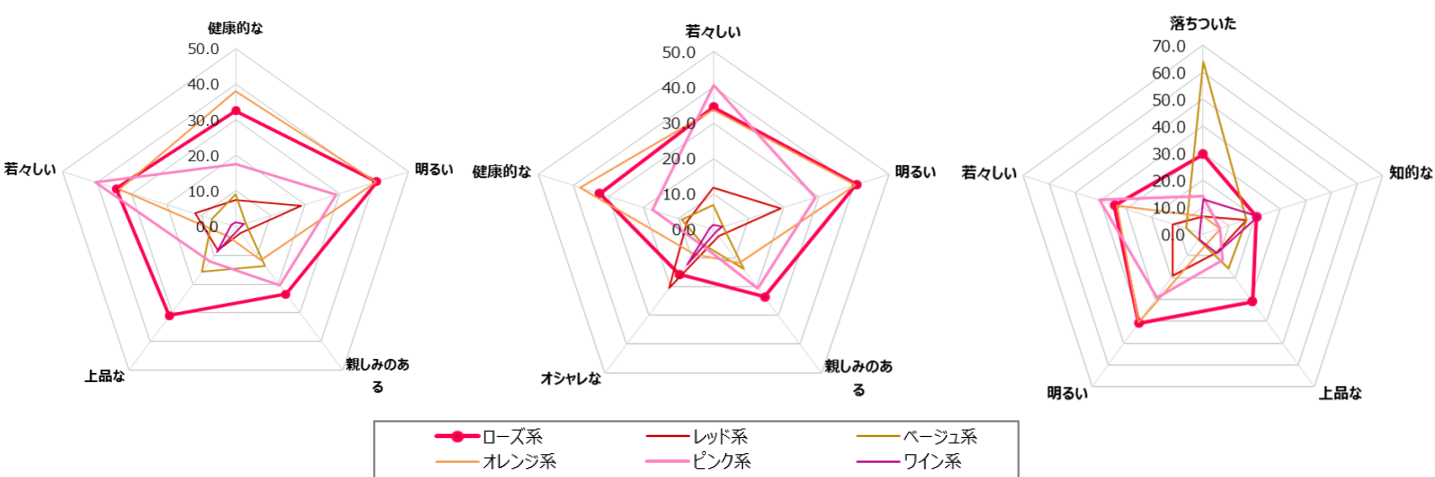
1位	若々しい	33.0%
1位	明るい	33.0%
3位	親しみのある	32.5%
4位	オシャレな	20.5%
5位	健康的な	18.5%

## ● 子どもの先生から見られたい印象



1位	落ち着いた	26.0%
2位	知的な	24.5%
3位	上品な	23.5%
4位	明るい	22.5%
5位	若々しい	21.5%

【図8】 相手別、見られたい自分の印象TOP5と口紅の色の印象



# 40代・50代ミセスの理想を叶えてくれる優秀な口紅とは？

舅・姑へは「健康的な」印象に見られたいと答えた方が最も多く（27.3%）、オレンジ系の口紅が一番「健康的」であるものの、「上品な」印象が弱く、やはりローズ系が賢い選択のようです。

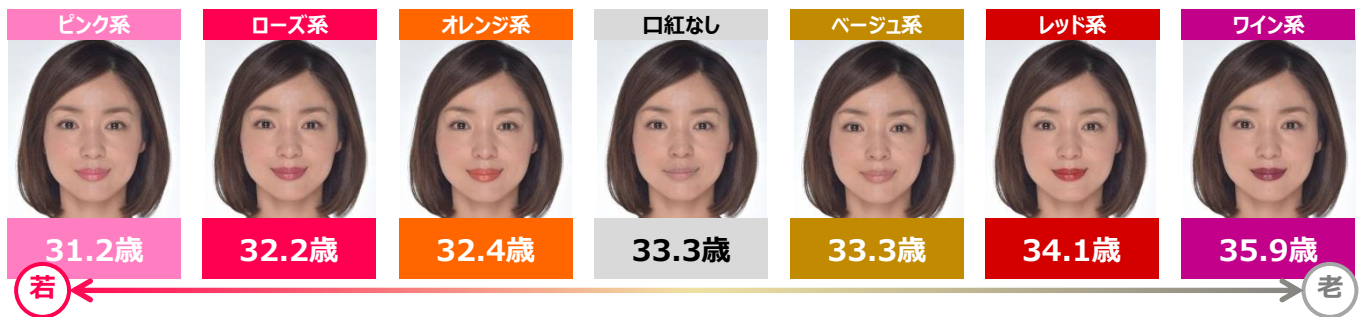
ママ友に対しては、「明るい」と「若々しい」が同率で1位（33.0%）。「親しみのある」（32.5%）に続き、娘と同じく「オシャレな」（20.5%）が次点に。「オシャレな」印象ではトレンドカラーのレッド系が高ポイントですが、ローズ系の定番色としてのバランスの良さが際立ちます。「悪目立ちしたくない」けれど印象をさりげなくアップさせたい人には、まんべんなく好印象なローズの口紅が役立ちそうです。

知的で落ち着いた印象を与えたい子どもの先生へは、「落ち着いた」印象でベージュ系が突出していますが、「上品な」（23.5%）印象や「明るい」（22.5%）印象に欠けます。落ち着いた話をしたいシーンなどに、ベージュ系は使いやすいかもしれませんが、普段から定番としておすすめの色はやはりローズ系と言えます。

## ★ 口紅の色には若見え効果も！

口紅の色によっては、若々しく見せてくれる若見え効果も期待できます。[図4]の女性の写真を提示し、何歳に見えるかをそれぞれ聞いた結果、口紅をつけていない顔は33.3歳ですが、「ワイン系」の口紅では最も高い35.9歳、「ピンク系」の口紅で31.2歳と、口紅の色を替えるだけで最大4.7歳も見た目年齢に差があることがわかりました。

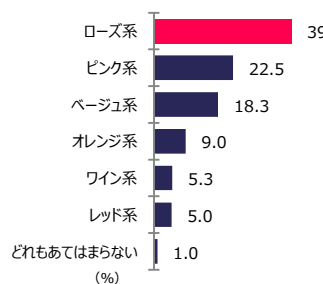
【図9】 何歳に見えますか？



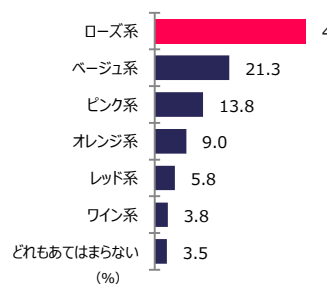
## ★ 40代・50代が選ぶ、今の自分に似合う色ナンバー1はダントツ「ローズ系」

次に、今の自分が好きな口紅の色、似合うと思う口紅の色を聞くと、好きな色（39.0%）、似合うと思う色（43.0%）いずれも「ローズ系」がトップに選ばれました [図9]。また、自分が20代の頃好きだった色は「ピンク系」（40.5%）、自分が20代の頃似合っていたと思う色も「ピンク系」（43.8%）でした。

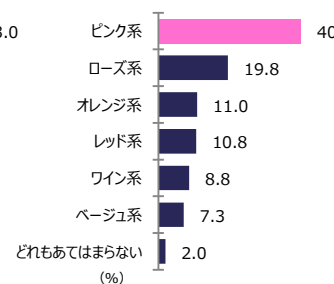
【図10-1】  
今の自分が好きな色



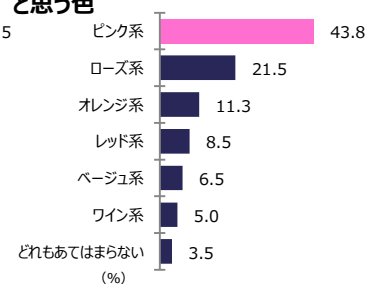
【図10-2】  
今の自分に似合うと思う色



【図10-3】  
20代の頃、好きだった色



【図10-4】  
20代の頃の自分に似合っていたと思う色



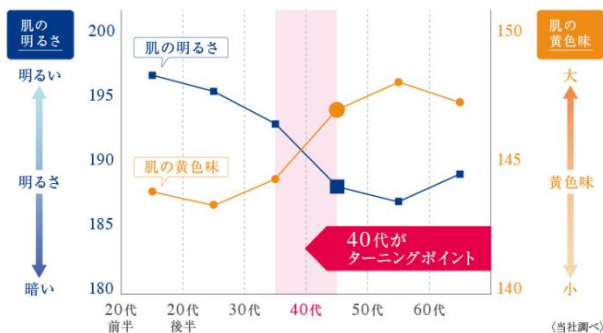
# [参考資料]大人の肌にローズ系カラーが似合う理由

## ■なぜ「ローズ系」カラー？ 大人の肌実態と、「ローズ系」カラーの相性。

### 40代を境に黄ぐすみが進む大人の肌。

[図11]は、加齢に伴う肌の明るさと黄色味の変化を表したグラフです。20代・30代では、肌に明るさがあり、黄色味も抑えられていますが、40代になると逆転し、明るさが低下し、黄ぐすんだ肌へと変化していきます。この黄ぐすみが、「今までのメイクが似合わなくなってきた」と感じる原因のひとつになっていると思われま。

[図11] 加齢に伴う肌の明るさと黄色味の変化



## 補色効果で“大人の肌映えメイク”が期待できる「ローズ系」カラー！

黄色と補色関係にある青み系のローズカラーを口もとに取り入れることで、肌と唇がお互いの色味を引き立て合い、“肌映え”効果が期待できます。



黄味系の肌の色  
×  
ベージュ系のリップ

ベージュ系のヌードカラーをつけてしまうと、かえって黄みが強調され、くすみが目立つ。



黄味系の肌の色  
×  
ローズ系のリップ

黄味系の肌の色  
×  
レッド系のリップ

レッド系のカラーにすると、肌の色から唇が浮いて見える。

黄ぐすんだ肌に、青み系のローズが補色となり、お互いの色味を引き立て合うことで、自然に肌に映える効果(肌映え)が期待できます。

### 補色とは？・・・

補色とは、色相環上の反対に位置する色のこと、この2色を重ね合わせると、お互いの色を打ち消し合い、隣り合わせると、お互いの色を引き立て強調する鮮やかな組合せになります。口紅の場合は、肌にあわせることから後者の考え方で色彩を考えます。



サラダにトマトを加えると、色鮮やかに美味しそうに見えます。これも補色効果例のひとつです。

## 日本で一番売れている口紅シリーズ「メディア クリーミラスティングリップ」の人気No.1カラーは、肌なじみの良い絶妙なローズ『RS-18』!

「media(メディア)」で最も売れている口紅シリーズが「クリーミラスティングリップ」。中でも大人気カラーは肌なじみの良い絶妙なローズ『RS-18』です。2005年の発売から常に売上げ上位に位置するロングセラーカラーで、『RS-18』の単色カラーだけで発売から2017年4月末までに累計で120万本以上(1,277,812本)出荷しており、直近1年ではシリーズ内人気No.1(※2)カラーとなっています。“肌映え”するのに、程よい渋みで口もとが浮きすぎない肌なじみのよさや、主張しすぎないきちんとしたメイク感と女性らしさを醸し出す絶妙な色みが人気の理由であり、最近ではシーンを問わず使えるカラーとして、さらに多くの女性にご好評いただいております。

### メディア クリーミラスティングリップA 950円(税抜) 全22色

- ◇なめらかにフィットするクリーミナ質感
- ◇つけたての発色と乾燥やあれを防ぐうるおい効果が持続する落ちにくい口紅
- ◇水溶性コラーゲン(保湿成分)、オリーブオイル(保湿成分)、ホホバオイル(保湿成分)配合
- ◇無香料



仕上がりイメージ

※1 インテュースリデーセルフメイク口紅市場 2016年5月～2017年4月累計売上金額  
※2 2016年5月～2017年4月末までのクリーミラスティングリップA RS-18 累計出荷金額がクリーミラスティングリップシリーズ内で1位



## 自分のイメージに悩む40代・50代女性。 思い込みをなくして似合う色を選んで

工藤 亮子 さん （イメージコンサルタント・一般社団法人イメージプロデュース協会 代表理事）

長崎県出身、広島大学卒。計6年間の在米期間から帰国後、5年間のインポートジュエリーブランドのPR、化粧品製造販売会社での勤務を経て、イメージコンサルタントとして独立。ニューヨークを代表するデザイナーを数多く輩出しているFashion Institute of Technology (FIT) イメージコンサルティングコースでの専門的な学びを活かし、独自のコンサルティングスタイルを確立。一般社団法人イメージプロデュース協会を設立し、ビジネスファッション、ビジネスメイク、色彩分野を中心に、印象・イメージで魅せる方法を伝えている。

40代・50代の女性は、母としても、妻としても、ママ友としても、一人の大人の女性としても、うまく振舞うことが期待されるマルチプレーヤー。若々しく見せたいけれど、若作りには見られたくない、おしゃれしすぎると周りから浮いてしまう・・・など、様々なシーンで期待されるイメージと、ご自身の理想のイメージとのギャップに悩む方も多いようです。

20代のころに覚えたメイクを今も続けているという方も多く、育児などでしばらくおしゃれをお休みをした後、40代になって自分のために時間を使えるようになって改めて、「自分に合うものがわからない」「何を使っていいかわからない」という相談を良く受けます。とりあえず流行っているものを手にとってみたものの、本当に自分に似合う色なのか、選択肢が多いからこそ迷ってしまうこともあるんですね。私が女性たちに似合う色をアドバイスする際には、現在の身体的な特徴（肌の色や髪の色など）にマッチする色やアイテムを勧めるようにしています。

ローズ系は、青みがかった色で透明感が出るカラー。品良く見せたい方におすすめです。比較的、つける人を選ばない色と言えます。40代・50代の女性は、口紅をつけていないと顔色が悪く見えてしまう世代でもあるので、どの色を選んでいいかわからない、という方はローズ系から選ぶと良いかもしれません。また、一口にローズといっても彩度によって全く印象が変わるので、自分にじっくりくる色を探してみてください。